

自己と他者を表象する 神経メカニズム



講師：奥山 輝大 准教授
東京大学 定量生命科学研究所

日時：2024年5月10日（金）17：00～
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

私たちは日々何気なく、社会の中で生活し他者と協力しながら生きていますが、この一連の行動の過程には極めて複雑な脳機能を見出すことができます。たとえば、「苦手な相手に近づかない」という行動の時には、感覚情報を基に他者を認識し、海馬に貯蔵されている社会性記憶を想起し、情動回路の活動が活性化された後、忌避行動の神経回路へと情報が伝達されています。今回のセミナーの中では、社会性記憶を貯蔵する「海馬」と、他者に対する共感性を司る「前野前頭」に注目しながら、自己と他者を表象する神経メカニズムについての私たちの最近の研究成果をお話したいと思います。

(参考文献) Chung et al., *Nat. Commun.* In press (2024)
Huang et al., *Nat. Commun.* 14:3458 (2023)
Tao et al., *Mol. Psychiatry* 27:2095 (2022)

世話人：野村洋（医学研究科・認知機能病態学寄附講座）
TEL: 052-853-8381, E-mail: hnomura@med.nagoya-cu.ac.jp